

問診、便潜血検査（二日法）

がんで亡くなる方の内、女性1位、男性2位が大腸がんです。大腸がん検診を毎年受診することで、大腸がんによる死亡率が60%減少すると言われています。

注意事項

自宅で2日分の便を採取し、提出いただきます。

必ず事前に、健康推進課から検査キットを受け取ってください。

※昨年度受診し、結果が「異常なし」の方には、4月中に郵送します。

【お知らせ】5月14日（検診初日）は、混雑が予想されます。お時間に余裕をもってお越しください。

【精密検査の方法】

全大腸内視鏡検査、困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸X線検査の併用



問診、マンモグラフィ

女性に一番多いがんですが、早期に発見し適切な治療をすれば90%以上で治癒が期待できます。マンモグラフィとは、透明なプラスチック板で乳房を圧迫してレントゲン撮影をする検査です。

注意事項

現在授乳中の方、現在乳腺外来を定期的に通院中の方、ペースメーカー手術や乳房形成手術を受けた方は受診できません。

●保健センターで受ける方法 **予約制** 予約方法は3ページ

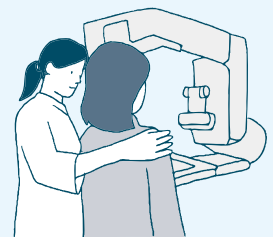
●医療機関で受ける方法 **予約制** 直接医療機関に申し込みをしてください。

受診できる医療機関については、右記の二次元コードからホームページをご確認ください。

【精密検査の方法】

マンモグラフィの追加撮影や超音波（エコー）、穿刺吸引細胞診や針生検等

※穿刺吸引細胞診：病変に細い針を刺し、病変部の細胞を吸引して顕微鏡で観察する検査



乳がん検診について

問診、視触診、内診、頸部細胞診

20～30歳代の女性に増加傾向のがんです。がんになる前の細胞（異形成）の段階から発見することが可能で、がんになる前に治療ができる唯一のがんです。

子宮頸がんの原因は、HPV（ヒトパピローマウイルス）であることが判明しています。女性の80%が生涯のうち一度は感染すると言われているありふれたウイルスです。

注意事項

性交渉未経験の方はHPVの感染リスクがとても低いと言われています。検診で処女膜を傷つける可能性もあるため、受診は推奨されません。

●保健センターで受ける方法 **予約制** 予約方法は3ページ

●医療機関で受ける方法 **予約制** 直接医療機関に申し込みをしてください。

受診できる医療機関については、右記の二次元コードからホームページをご確認ください。

【精密検査の方法】

コルポスコプ（拡大鏡）下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたもの。※HPV検査：HPVに感染しているか調べる検査



子宮頸がん検診について